設問分類	No.	設問		選択肢	想定する使い方
属性					
ヒューマンウェアプログラム履修	1	あなたはヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム（以降、ヒューマンウェア）の履修生ですか。		1.はい 2.いいえ	
所属研究科	2	あなたが所属する研究科を選択してください。		1.情報科学研究科 2.生命機能研究科 3.基礎工学研究科	
学年	3	あなたの学年をお答えください。		1.博士後期1年または5年一貫3年 2.博士後期2年または5年一貫4年 3.博士後期3年または5年一貫5年	
学生の成長					
現在までに身に付いた能力	4	次に示す各能力は、どの程度身についていますか？ 各能力について、以下の程度の具体例を示すので、そこから選んでください。 1. 身についていない 2. 少し身についている 3. ある程度身についている 4. 身についている 5. よく身についている	**①専門以外の分野の幅広い知識**	1.所属する研究室の専門分野以外の知識はあまり獲得していない。 2.所属する研究室に近い専門分野（例えば研究科内）の人と議論ができる知識と経験がある。 3.広く社会知識を有し、異なる専門分野（例えば異なる研究科の専門分野）の人とも議論ができる知識と経験がある。 4.広く社会知識を有し、異なる専門分野においても課題に取り組める知識と経験がある。 5.広く社会知識を有し、異なる専門分野においても課題に取り組める知識をもち、成果をあげている。	能力XとYとZに関して、プログラム非履修生と比較して有意に能力が身に付いたと自覚していることがわかった。 ※正直なところ、基本的には以下の二つのことを意識したいです。 1. 履修生の回答自体は高い位置にもっていきたい。これは、単独で高い値が出せることと、その後のJSPSのアンケートにも値に対する印象が影響すると思うので。 2. 履修生と非履修生のデルタを顕著にしたい。
	5		**②確固たる価値観に基づき、個人や社会の多様性を尊重しつつ、他者と協働する力**	1.他者との協働の経験がなく実施するイメージが持てない。 2.所属する研究室の人と協働できる。 3.近い研究分野（例えば同じ研究科の研究）であれば異なる研究室の人と協働でき、その経験もある。 4.異なる研究分野（例えば異なる研究科の研究）の多様な価値観の人と協働でき、その経験もある。 5.価値観や専門分野が異なる人達とチームをつくって課題に取組み、また求められる場合にリーダーシップを発揮した経験がある。	
	6		**③高度な専門的知識・研究能力**	1.研究を行うための十分な専門的知識や研究能力はない。 2.教員が提案した課題の研究の実施・解決が可能な知識と研究能力がある。 3.専門分野において、自主的に課題設定・研究実施・解決まで可能な知識と能力がある。 4.専門分野において、自主的に課題設定・研究実施・解決まで可能であり、何らかの結果がある。 5.専門分野において、自主的に課題設定・研究実施・解決まで可能であり、優れた成果もある。	
	7		**④自ら課題を発見し解決に挑む力**	1.自ら課題を発見し解決に挑むことはできていない。 2.所属する研究室の専門分野の中で自ら課題を発見し解決に挑める。 3.専門分野に限らず、異なる研究や社会において能動的に課題発見と解決に挑める。 4.専門分野に限らず、異なる研究や社会において能動的に課題を発見し解決をした経験がある。 5.専門分野に限らず、異なる研究や社会において能動的に課題を発見し解決をし、成果をあげている	
	8		**⑤幅広い知識をもとに、物事を俯瞰し本質を見抜く力**	1.物事を広い視点で客観的に分析することはできていない。 2.所属する研究室の専門分野の中では物事を広い視点で客観的に分析できる。 3.専門研究とは異なる研究や社会の物事についても、広い視点で客観的に分析できる。 4.専門研究とは異なる研究や社会の物事についても、広い視点で客観的に分析して、本質を見抜く力がある。 5.専門研究とは異なる研究や社会の物事についても、広い視点で客観的に分析し本質を見抜く力があり、それによる成果もある。	
	9		⑥多様な世界との技術的および文化的交流に積極的に取り組むことのできる、高い**国際性**	1.国際的な交流やイベントなどに参加したりかかわった経験がない。 2.所属する研究室の専門分野では国際的な交流やイベントに参加した経験がある。 3.所属する研究室の専門分野では国際的なイベントに積極的に取り組める。 4.所属する研究室の専門分野に加え異なる分野の国際的な交流やイベントなどにも積極的に取り組める。 5.海外でプロジェクトやイベントを主体的に実施した経験がある。（研修、インターンなどを含む）	
	10		⑦知識を駆使し既成概念に捉われず新アイデアを出す、**独創的な能力**	1.独創的な新しいアイデアを出すことはできていない。 2.所属する研究室の専門分野の中では新しいアイデアを出している。 3.自身の専門とは異なる分野の視点・考え方も取り入れ、新しいアイデアを出している。 4.自身の専門とは異なる分野の視点・考え方も取り入れ、周囲にない発想で課題に取り組んでいる。。 5.自身の専門とは異なる分野の視点・考え方も取り入れ、周囲にない発想で成果を出している。	
	11	その他、大学院にて向上したと思う能力があればお答えください（自由記述）		自由記述（_____）	
汎用力の育成	12	あなたは大学院入学後、 「既成概念や狭い分野にとらわれることなく、自由な意志により分野を超えて未来像を考え、他者との議論を通して具体的行動を起こせる能力」 を向上することができたと思いますか？		1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	・総じて、汎用力が非履修生と比較して着いたと思っている。 ・（HW生だを見て）XX%が向上したと思っている。
	13	問13の回答の理由を自由にお答えください *そう実感された具体的エピソードをぜひ記入ください。		自由記述（_____）	
人的ネットワークの構築					
人的ネットワーク	14	あなたは、大学院教育を通じて、専門分野や立場を超えた多様な人的ネットワー クを構築することができたと思いますか？		1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	同上

設問分類	No.	設問	選択肢	想定する使い方
キャリアパス				
修了後のキャリア	15	大学院修了直後のキャリア希望または予定について、次のうちあてはまるものを選択してください（複数回答）	1. 国内の大学・研究機関などでの教育および研究者 2. 海外の大学・研究機関などでの教育および研究者 3. 企業（ベンチャー以外）での研究技術職・専門職 4. ベンチャー企業での研究技術職・専門職 5. ベンチャー企業を自身又は共同で起業 6. 企業（大・小・ベンチャーを問わない）での非研究職 7. 国連などの国際機関 8. その他（_____）	HW生は比較的・・・志望だ。 ※（JSPSの評価項目と比較して、大企業とベンチャーを分けてみています。あとで合わせることもできるので。）
	16	あなたは、大学院教育を通じて広い視野を獲得したことにより、固定概念にとらわれることなく新しい視点でキャリアを考えられたり、結果的にこれまで考えていたキャリアイメージをより強く考えられたりするようになったと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	HWによってキャリアに対する考え方が自由に考えられるようになった。
	17	あなたは、大学院教育やそれに関連して自主的に実施したイベントなどにより、多様なキャリアパスを考える上で役に立つ機会や、アカデミアだけでない様々なキャリアパスに繋がる機会が得られたと感じましたか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	HWは多様なキャリアをサポートしたと感じている。
		以上、全員。以下、HW生のみ。		
プログラムの内容と環境				
各項目	18	各能力の向上に、以下に示す項目（科目・環境・イベント）はどの程度有効でしたか。それぞれ4段階の数値を入力してください （凡例） 1．無関係 2．少し効果あり 3．効果あり 4．非常に効果あり	シート「各項目」を参照	・〇〇は・・・に効いた。 ・〇〇はX%の学生が能力成長に貢献したと言ってる。 ・やはり私達が最も期待していた〇〇が一番効いた。
相乗効果とトレードオフ	19	あなたは、ヒューマンウェアに関連する活動（完全に自主的な活動は除く）が、専門研究能力の成長（研究室の活動など）に与える影響に関して、プログラムに関わるための時間コストによるネガティブな効果と、一般能力の成長によるポジティブな効果を総合して、どのような影響を与えたと感じますか？	1.プログラムに関わるための時間コストなど負の影響が大きい 2. 少し負の影響が大きい 3. 正の影響とおおよそ相殺されていて影響が無い 4. 少し正の影響が大きい 5. 一般能力成長による正の影響が大きい	※プラスα 一般的にはトレードオフであるLPのとりくみだが、HWではむしろプラスだった。（マイナスでは無かった、とかでも・・・）
人的支援	20	ヒューマンウェアは、第一級の教員、企業などの学外協力者などを含み、アドバイザリ・講義・講演・イベント・日常的なサポートなどを通した人的支援環境を提供したと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	そのまま
周囲の協力	21	指導教員をはじめ、あなたの周囲の教員はヒューマンウェアでの活動や履修に協力的だと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	フォーラムなどでの共有により、一般的には指導教員の問題があると言われているが、HWではよかった。
	22	あなたがヒューマンウェアの履修を開始したときと比較して、あなたの周囲の教員はヒューマンウェアでの活動に協力的になってきたと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	（上記がダメだった場合にも）HWにより、教員の意識も改善した。
経済的支援	23	奨励金制度は研究活動の支援において役に立ちましたか	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	そのまま
継続と波及効果				
継続	24	あなたはヒューマンウェア、またはこれを改善したプログラムを、今後も継続すべきだと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	そのまま
波及効果	25	あなたはヒューマンウェアが、ヒューマンウェアに含まれなかった他の研究科などを含め、大学や大学院全体に好影響を与えることが出来たと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	そのまま
さらなる波及	26	あなたはヒューマンウェアで提供されたような教育、またはその一部を、ヒューマンウェアに含まれなかった大阪大学の他の研究科や、大阪大学の学部教育、他の大学や高校教育などに広めていくと良いと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	※プラスα そのまま
自由記入				
総じて	27	ヒューマンウェアに関して、たとえば次のような項目などで、特筆する点があれば是非記載してください。 ・特筆して良かった点 ・課題および改善点 ・履修を通じて達成・実現できたこと ・その他の希望やコメント		・特だし ・今後の改善のため （継続を前提の評価なので、今後の話もないとおかしい気がしてきました）

各能力の向上に、以下に示す項目（科目・環境・イベント）はどの程度有効でしたか。それぞれ4段階の数値を入力してくだ

評価　　1. 無関係
2. 少し効果あり
3. 効果あり
4. 非常に効果あり

回答形式

HWの取り組み→ JSPSアンケートにある7つの能力↓	1. 融合研究関連(基礎論、ラボローテ、自主的活動、学生PI研究など含む)	2. 社会関連(企業訪問、創出論、アウトリーチ、実践演習、インターンなど含む)	3. 海外関連(海外短期渡航、海外研修、OIST、海外インターン、英語クラス	4. 学生アドバイザリ委員会によるメンタリングや試験等	5. 合宿や日常環境での様々な学生や教員などの人のつながりと議論	6. 学生企画やリーディングフォーラムなどの自由参加のイベント	7.HW以外の活動（専門研究活動、HWのサポートや人脈と無関係な学外活
①専門以外の分野の幅広い知識							
②確固たる価値観に基づき、個人や社会の多様性を尊重しつつ、他者と協働する力							
③高度な専門的知識・研究能力							
④自ら課題を発見し解決に挑む力							
⑤幅広い知識をもとに、物事を俯瞰し本質を見抜く力							
⑥多様な世界との技術的および文化的交流に積極的に取り組むことのできる、高い国際性							
⑦知識を駆使し既成概念に捉われず新アイデアを出す、独創的な能力							

設問分類	No.	設問		選択肢	備考
属性					
ヒューマンウェアプログラムの担当の有無	1	あなたはヒューマンウェアのプログラム担当者ですか？		はい いいえ	
所属研究科	2	あなたが所属する研究科を選択してください。			
回答者の担当履修生について	3	あなたが担当する履修生（複数いる場合は最高学年の履修生）の学年をお答えください。 ※以下の質問は、この最高学年の学生についてお答えください。最高学年の学生が複数いる場合は、その平均を想像していただけますと幸いです。		博士後期1年または5年一貫3年 博士後期2年または5年一貫4年 博士後期3年または5年一貫5年	
学生の成長					
現在までに身に付いた能力	4	上記の最高学年のヒューマンウェア履修生(同じ学年が複数いる場合はその平均)と、同学年の履修していない学生の平均（現在いない場合でも過去の経験からその学年の平均像）を想像して、二つの値をお答えください。 次に示す各能力は、どの程度身についていると思われますか？ 各能力について、以下に程度の具体例を示すので、そこから選んでください。 1. 身についていない 2. 少し身についた 3. ある程度身についた 4. 身についた 5. よく身についた	**①専門以外の分野の幅広い知識**	1.所属する研究室の専門分野以外の知識はあまり獲得していない。 2.所属する研究室に近い専門分野（例えば研究科内）の人と議論ができる知識と経験がある。 3.広く社会知識を有し、異なる専門分野（例えば異なる研究科の専門分野）の人とも議論ができる知識と経験がある。 4.広く社会知識を有し、異なる専門分野においても課題に取り組める知識と経験がある。 5.広く社会知識を有し、異なる専門分野においても課題に取り組める知識をもち、成果をあげている。	履修生と非履修生の回答欄を二つ設けること。「それぞれ〇と△をつけてください」などではおそらく見落として一つしか〇をつけない人も多数出ると思われます。
	5		②確固たる価値観に基づき、個人や社会の多様性を尊重しつつ、**他者と協働する力**	1.他者との協働の経験がなく実施するイメージが持てない。 2.所属する研究室の人と協働できる。 3.近い研究分野（例えば同じ研究科の研究）であれば異なる研究室の人と協働でき、その経験もある。 4.異なる研究分野（例えば異なる研究科の研究）の多様な価値観の人と協働でき、その経験もある。 5.価値観や専門分野が異なる人達とチームをつくって課題に取組み、また求められる場合にリーダーシップを発揮した経験がある。	
	6		③高度な**専門的知識・研究能力**	1.研究を行うための十分な専門的知識や研究能力はない。 2.教員が提案した課題の研究の実施・解決が可能な知識と研究能力がある。 3.専門分野において、自主的に課題設定・研究実施・解決まで可能な知識と能力がある。 4.専門分野において、自主的に課題設定・研究実施・解決まで可能であり、何らかの結果がある。 5.専門分野において、自主的に課題設定・研究実施・解決まで可能であり、優れた成果もある。	
	7		**④自ら課題を発見し解決に挑む力**	1.自ら課題を発見し解決に挑むことはできていない。 2.所属する研究室の専門分野の中で自ら課題を発見し解決に挑める。 3.専門分野に限らず、異なる研究や社会において能動的に課題発見と解決に挑める。 4.専門分野に限らず、異なる研究や社会において能動的に課題を発見し解決をした経験がある。 5.専門分野に限らず、異なる研究や社会において能動的に課題を発見し解決をし、成果をあげている	
	8		⑤幅広い知識をもとに、**物事を俯瞰し本質を見抜く力**	1.物事を広い視点で客観的に分析することはできていない。 2.所属する研究室の専門分野の中では物事を広い視点で客観的に分析できる。 3.専門研究とは異なる研究や社会の物事についても、広い視点で客観的に分析できる。 4.専門研究とは異なる研究や社会の物事についても、広い視点で客観的に分析して、本質を見抜く力がある。 5.専門研究とは異なる研究や社会の物事についても、広い視点で客観的に分析し本質を見抜く力があり、それによる成果もある。	
	9		⑥多様な世界との技術的および文化的交流に積極的に取り組むことのできる、高い**国際性**	1.国際的な交流やイベントなどに参加したりかかわった経験がない。 2.所属する研究室の専門分野では国際的な交流やイベントに参加した経験がある。 3.所属する研究室の専門分野では国際的なイベントに積極的に取り組める。 4.所属する研究室の専門分野に加え異なる分野の国際的な交流やイベントなどにも積極的に取り組める。 5.海外でプロジェクトやイベントを主体的に実施した経験がある。（研修、インターンなどを含む）	
	10		⑦知識を駆使し既成概念に捉われず新アイデアを出す、**独創的な能力**	1.独創的な新しいアイデアを出すことはできていない。 2.所属する研究室の専門分野の中では新しいアイデアを出している。 3.自身の専門とは異なる分野の視点・考え方も取り入れ、新しいアイデアを出している。 4.自身の専門とは異なる分野の視点・考え方も取り入れ、周囲にない発想で課題に取り組んでいる。。 5.自身の専門とは異なる分野の視点・考え方も取り入れ、周囲にない発想で成果を出している。	
	11	その他、ヒューマンウェア履修生が特別に向上したと思う能力があればお答えください（自由記述）		自由記述（_____）	
汎用力の育成	12	ヒューマンウェア履修生は、非履修生と比較して、 「既成概念や狭い分野にとらわれることなく、自由な意志により分野を超えて未来像を考え、他者との議論を通して具体的行動を起こせる能力」 を向上することができたと思いますか？		1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う 6. 知らない・わからない	
	13	よろしければ問12の回答の理由を自由にお答えください *そう実感された具体的エピソードをぜひ記入ください。		自由記述（_____）	
人的ネットワークの構築					
人的ネットワーク	14	ヒューマンウェア履修生は、非履修生と比較して、 大学院での学びや修了後の活動に資するであろう、専門分野や立場を超えた多様な人的ネットワークの構築することができたと思いますか？		1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う 6. 知らない・わからない	
キャリアパス					
修了後のキャリア	15	ヒューマンウェア履修生のキャリア希望は、ヒューマンウェアプログラムの影響を受けていると思いますか。		1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う 6. 知らない・わからない	
	16	よろしければ回答の理由を自由にお答えください *そう実感された具体的エピソードをぜひ記入ください。		自由記述（_____）	
プログラムの内容と環境					

相乗効果とトレードオフ	17	あなたは、ヒューマンウェアに関連する履修生の活動（完全に自主的な活動は除く）が、履修生の専門研究能力の成長（研究室の活動など）に与える影響に関して、プログラムに関わるための時間コストによるネガティブな効果と、一般能力の成長によるポジティブな効果を総合して、どのような影響を与えたと感じますか？	1. 時間コストなど負の影響が大きい 2. 少し負の影響が大きい 3. おおよそ相殺されていて影響が無い 4. 少し正の影響が大きい 5. 一般能力成長による正の影響が大きい	
適用範囲	18	あなたはヒューマンウェアプログラムを履修していない指導学生にも、ヒューマンウェアプログラムを履修してもらいたいと思いますか。	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
教員の意識共有	19	あなたはヒューマンウェアの教育は賛同できるものと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
	20	あなたのヒューマンウェアの教育に対する現在の印象は、初めて履修生を担当するときの印象と比較して良くなったと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
	21	あなたの周囲の教員は、ヒューマンウェアの教育に理解を示していると思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
	22	あなたの周囲の教員のヒューマンウェアの教育に対する現在の印象は、ヒューマンウェア開始当初の印象と比較して良くなったと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
継続と波及効果				
継続	23	あなたはヒューマンウェア、またはこれを改善したプログラムを、今後も継続すべきだと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
波及効果	24	あなたはヒューマンウェア履修生が研究室内の非履修生（またはポスドクや教員など）にもよい影響を与えたと思いますか？（例えば周囲も刺激を受けて研究室全体のアクティビティが上がった等）	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
波及効果	25	あなたはヒューマンウェアが、ヒューマンウェアに含まれなかった他の研究科などを含め、大学や大学院全体に好影響を与えることが出来たと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
さらなる波及	26	あなたはヒューマンウェアで提供されたような教育、またはその一部を、ヒューマンウェアに含まれなかった大阪大学の他の研究科や、大阪大学の学部教育、他の大学や高校教育などに広めていくと良いと思いますか？	1. そう思わない 2. あまりそう思わない 3. ややそう思う 4. そう思う 5. 強くそう思う	
自由記入				
総じて	27	その他、上述のなかで特筆すべきものの詳細や、ヒューマンウェアについてのご意見等がありましたら記載してください。（自由記述） 例）特筆して良かった点や、課題および改善点	自由記述（_____）	